



今回のお伝

劇で表現しよう

月

日

年

組

名前



サトルたちの2つの台本を参考に、台本制作について考えてみよう。
台本制作はみんなで話し合いながら決めていこう。

最初の劇の台本

※4人で、枕投げのパントマイム。

先生はひとり張り切って台詞を言う

サトル (台詞) えい!

伝じろう (台詞) えい!

リン (台詞) 痛っ! もうやめてよー!

※そこへ、先生が入ってくる

先生 (台詞) ガラガラガラ!

いつまで起きてるの!

4人 (台詞) はっ! ビックリしたー!

先生 (台詞) 早く寝なさい!

4人 (台詞) すみませーん!



「最初の劇の台本」と、2ページ目の「最後にできあがった台本」を比べてみよう。

最後にできあがった台本

サトル （にやにやして）へっへっへ！
枕なげっておもしろいね。えい！

シュン （だらだらして）そうかー？えい！

伝じろう （めそめそして）ちょ、シュン君、
あんまり強く投げないで
くれるかな…。

リン （てきぱき）もう！
布団がぐちゃぐちゃ！
枕なげなんてやめて！

※先生、バックをしながら入ってくる。

先生 （イライラして。鬼の形相）
んんん！！
こら————！
いい加減にしろ——！！

※突然暗転。

伝じろう あれ？

サトル えへへへ。真っ暗だ。

シュン あー先生の大声で
電球が割れてるよー。

リン もう！みんな
ふざけてばかり（など）！先生！

生徒4人 むやみに大声を出してはいけない！

※先生 懐中電灯で自分の顔を照らして

先生 んー、ごめんなさい！

※伝じろうも懐中電灯で自分の顔を照らして

先生&伝じろう ひiiiiiiii！